

現物弁済米の在庫数量は1,871トン！

平成23年4月15日

○平成23年3月末現在の現物弁済米在庫数量は、1,871トンとなっています。

現物弁済米の在庫数量(平成23年3月末)

(単位:玄米トン)

	販売数量			年度末在庫数量
	米粉パン用等 新規需要	加工用代替 等既存需要	合計	
当初在庫数量				75,030
平成18年度	66		66	74,964
平成19年度	1,312	6,314	7,626	67,338
平成20年度	7,040	24,217	31,257	36,081
平成21年度	5,609	23,755	29,364	6,717
平成22年度	4,846	0	4,846	1,871

○米穀機構では、これまで、集荷円滑化対策に基づく17年産の現物弁済米を米粉用など、国産米の新たな需要拡大に資する用途の開拓・販売に努めてきたところです。

○一方、米粉用など新規需要米については、戸別所得補償モデル対策により、22年産が大幅に拡大され、23年度は農業者戸別所得補償制度として本格実施されます。

○このような中で、米穀機構が所有する現物弁済米の在庫については、農業者戸別所得補償制度下で米粉用米等の新規需要米の生産が推進されることを踏まえつつ、引き続き的確に活用し、併せて各般の関連する取組みを行ってまいります。